

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	24件	24,000円	680件	747,827円
財団	1件	12,000円	28件	337,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	200,000円
米山	1件	10,000円	23件	338,700円

本日のプログラム

<会員卓話>

浅沼会員

新百合ヶ丘で3年3ヶ月在籍しております、銀行内の支店長では最長となっております。異動になる前に、皆様の前でこうして卓話できる機会を頂きましてありがとうございます。

私の趣味の一つが映画鑑賞です。最近ではインターネットを通じて古いものや様々なパンフレットを入手できますが、見た映画のみのパンフレットを買うことにこだわっております。先日の新年会では、大西会員と映画談義に花が咲きました。映画の話なども交えながら経済予測などをお話できればと思います。

年が明けて2014年の経済予測について様々な情報が飛び交っています。メディアに登場しているマーケット予測家や経済評論家の分析はほとんどと言っていいほど当たっていません。かつて私も、マーケットのディーラーとして働いていましたのでよく分かります。今回は、短期ではなく5年10年先の長期のお話をしていきたいと思います。今回は約30年間の日経平均株価のチャート図を用意しました。2014年の今年は午年です。馬というのは足を上げると、必ず足を降ろすことから、午年の株価は上がって下がるといわれています。現に1990年・2002年の株価も一旦は上がったものの年末に向けて下がっていききました。こういった点からは、年末には下がるのではないかという見方ができます。「2007～8年につけた18,262円が直近10年の高値であることから、18,000円位が一つの見方なのか」といった考え方ができます。このようにチャートからは様々な見方ができます。

株価の見方や為替の変動は、誰も予測が付きません。やはり、それを決めるのは自分しかいません。自分が考えて、買ったり売ったりした時は、リスクやターンがマイルドに済みます。一つの方法として、是非チャート図をみて自分の頭で考えてみてください。上がるのか下がるのかの予測を考えるのは自分ですが、それには判断材料が必要になります。

株価チャートから読み解くのが一般的ですが、もっと身近なものでも材料になります。私が長年見ているものは、不動産関連のチラシと映画の興行収入です。

新聞の不動産関係の折込チラシが多くなると景気が良くなります。不動産は数が限られていますし、人間はより大きい、高い、よいモノを欲します。売り手(販売会社)よりも買い手(消費者側)の心理が大きく関わっていることから敏感に反応するのだと思います。車のチラシというのもあるのですが、流通量の多さと販売店の意向が反映され易いので正確さに若干かけます。それではこの面から見るとどうなのか。昨年の秋頃に比べ現在は若干減ってきているようです。もう一つ私独自の視点では、映画があります。映画には興行収入というものがあります。映画で100億円以上の興行収入を得た作品は27あります。見ていてわかったのですが、150億円以上の興行がある映画が出たときの景気は落ち込み、株価は落ちているのです。このように自分独自の視点を持って法則性を見つけるのは結構面白いです。最近の映画のパンフレットはユニークなモノが増えてきました。ドラマとのタイアップであったり、写真集ようであったり。こういったことは長い間私が映画のパンフレットを買い続けているからわかる変化です。株価も同じです。自分の中で、長くみていくと自分の頭の中にチャートのようなものができて、なんとなく違和感があるようになります。なんとなく不動産のチラシが最近減ったなどか、の「なんとなく」というのが大きなターニングポイントとなります。私が皆さんに覚えてしていただきたいポイントは3つです。

- ①世間一般の経済予測は信じない方が良い
- ②自分の好きな材料を使って、自分で考える
- ③ある一つの銘柄を適度な長いスパンで見続ける

その道のプロや他の人より上に行きたいならば、縦だけでなく横の広がりも大事になります。ご質問がございましたら、銀行までお越しください。お待ちしております。

